

開催月日 令和6年10月20日（土）

開催場所 調布市立第四中学校

令和6年度
調布市立若葉小学校・第四中学校・
図書館若葉分館施設整備PFI事業の
事業概要説明会
(第2部 午後7時開催)

【司会】

それでは、定刻となりましたので、調布市立若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館施設整備PFI事業に関する事業概要説明会を始めさせていただきます。

私は、本日、司会を務めさせていただきます、調布市教育委員会教育部教育総務課の森木と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

開会に当たり、調布市教育委員会教育部教育総務課施設担当課長の関口から御挨拶を申しあげます。

【関口施設担当課長】

皆様、こんにちは。本日は、御多用の中、事業概要説明会に御出席いただきまして誠にありがとうございます。

私は、調布市教育委員会教育部教育総務課施設担当課長の関口と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

図書館若葉分館の移転・改築を含む、若葉小学校と第四中学校の校舎の建替事業に関して、今後、こうした事業を進めることについては3年前の令和3年度に周知をさせていただいているところです。

その後、市では事業の実施規模やこれに係る事業費等について検討・調整を進めてきました。今年の年明けから事業者の選定作業を進め、この度、事業契約締結が整いましたので、まずは契約締結した事業の概要等についてお知らせするために本日の事業概要説明会を開催させていただきました。

この後、説明させていただく事業概要については、既に変更ができない部分も一部ありますが、まずは現時点における状況を説明させていただき、御意見を伺いたいと思っています。

本日、二部開催をしておりまして、夜の部となります、会場の都合もあり、大変恐縮で申し訳ございませんが、説明会の方は1時間程度の開催時間となってしまいますことについて、御理解の程よろしくお願ひいたします。

それでは、事業説明会の方を始めさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

【司会】

ここからは着座にて失礼いたします。

続きまして、本日の出席者を紹介させていただきます。始めに、市職員です。

調布市教育委員会教育部教育総務課施設担当課長の関口です。

同じく、教育総務課施設管理係長の榎本です。

続きまして、図書館主幹兼図書館副館長の海老澤です。

同じく、図書館庶務係施設担当係長の佐藤です。

次に、本事業の事業者です。本事業の代表企業であり、建設工事を担います、

青木あすなろ建設株式会社の中原です。

同じく、久保田です。

続きまして、本事業の協力企業であり、設計及び工事監理を担います、株式会社伊藤喜三郎建築研究所の山寺です。

同じく、小島です。

続きまして、本日の配布資料の御確認をお願いいたします。受付時にお配りしております、

A4サイズ縦 両面刷り1枚の若葉小学校・第四中学校改築だより第5号

A4サイズ横 両面刷り4枚でホチキス留めしている本事業の提案時の図面以上の2点が、本日の資料となります。資料が不足されている方はいらっしゃいますか。よろしいでしょうか。

続きまして、本日の説明会の流れを説明させていただきます。

まず、この後、市より本事業における今までの経過などを含む事業概要等を説明いたします。

次に、事業者の方より、本事業の提案内容について御説明いたします。

最後に、皆様からの御質問に対しての、質疑応答を予定しています。

先程、関口の方からも申したとおり、本説明会の所要時間を概ね1時間、終了予定時間を午後8時までとさせていただきたいと思います。円滑な進行に御協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

続きまして、説明に入る前に、3点お願いがございます。

まず1点目です。本説明会の記録作成のため、音声の録音と写真撮影をさせていただきます。写真撮影については、皆様のお顔が写らないよう十分に配慮いたしますので、御了承いただきますようお願いいたします。

次に2点目です。個人による会場内での写真撮影、録音、録画については御遠慮いただきますようお願いいたします。

最後3点目です。本日の質疑応答の時間内でお伺いしきれなかった御質問については、配布させていただいた改築だよりの裏面の一番下に記載しております、教育総務課まで御連絡いただければと思います。

私からの説明は以上となります。

それでは、教育総務課施設担当課長の関口より、事業概要等の説明をさせていただきます。

【関口施設担当課長】

それでは、事業概要等について説明をさせていただきます。

まず始めに、私の方からは、本事業に関してこれまでの経過を中心に説明をさせていただき、次に、現時点で決まっている事業概要について事業者の方から説明をさせていただきます。

始めに、事業実施に至る経過についてです。「若葉小学校・第四中学校 改築だより第5号」に記載させていただいた内容を中心に説明をさせていただきます。

市教育委員会では、これまで児童数の増加に伴う不足教室対策というのが大きな課題の一つとなっていましたが、児童数の増加数・伸びがあまりにも急激であり、将来的な増加の見込みが本当に読めない状況にあったため、その対策の検討が思うように進まない状況でした。

その一方で、毎年4月には新一年生が入学してくるため教室の確保は絶対でありましたので、令和2年度には校庭をつぶして仮設校舎を建築するという苦渋の決断に至ったところです。

また、若葉小学校が抱える課題として、もう一つ、校舎の老朽化も非常に大きな課題となっておりました。

若葉小学校の既存の校舎ですが、事務室や職員用玄関がある給食室側の校舎は昭和30年代半ばに、市内の公立学校で始めて建設された鉄筋コンクリート造の校舎です。このため、現在では、築後約65年が経過している状況であり、校舎の建替の検討も同時に進めなければならない状況が背景としてありました。

最終的には、第四中学校の校舎の建替えも同時に実施するという判断に至り、あわせて小学校の敷地に隣接する図書館若葉分館の移転・改築を実施することとし、これが令和2年度末の状況でした。

このため、令和3年度には、建替えに向けた検討委員会を立ち上げ、はじめに基本構想というものを策定しました。この時点で、今後、校舎の建替えを進めていくことについて、地域の皆様や、保護者の皆様に情報提供・周知し、現在に至っています。

令和4年度以降についてですが、この間は、行政内での検討や準備を進めてきた期間となり、実際に実施する事業の規模を「これくらいにしよう」とか「これくらいの事業費で実施しよう」といった、検討や調整を進めてきました。新しい校舎にどういう内容を盛り込むのか、どのくらいの大きさの校舎を建築するのか、そして総事業費はどのくらいにするのかといったやり取りを行っていました。理想を追求すると、建物、新校舎の規模はだんだん大きくなり、事業費は雪だるましきに膨らみます。一方で、予算には限界があるので、

事業費は圧縮しなければならない。このため、事業規模と事業費の予算の折合をどこで妥協するかということに非常に時間を費やし、結果、約1年半程度を要したということです。

そして、事業規模や事業費が固まった段階で、実際に、設計と工事を実施していただく事業者を決める準備を進めました。

事業者を決めるまでの経過については、昨年の暮れ令和5年12月28日に入札公告・入札説明書等を公表し、入札の手続きを開始しました。

その後の経過については、資料に記載のとおりとなります。まずは、入札参加の申し込みがあった事業者からの提案について最優秀提案を決める作業を行い、最優秀提案が決定したのは、7月6日となります。

その後、落札者の決定・事業契約締結に向けた作業を行い、先月、開会された令和6年第3回調布市議会定例会において特定事業契約締結についての議案が可決され、9月25日付で、正式に、事業契約締結が整ったというのが現時点での状況となっています。

市と契約締結を行った事業者についてですが「PFI調布小・中学校図書館施設整備株式会社」です。この会社は、特別目的会社・SPCと呼ばれる会社となりまして、本PFI事業を実施するために、一覧表に記載の代表企業と構成企業により市内に設置された会社となります。

なお、本事業は、一覧表に記載の企業が主体となって実施していきます。

代表企業を務める青木あすなろ建設株式会社が中心となり、構成企業が3社、協力企業が4社、計8社で構成されたコンソーシアムにより事業を実施していきます。

次に、今後のスケジュールについてですが、事業者との契約締結が整い、基本設計・実施設計に着手した段階ですので、現時点がこの位置となります。

これから、約1年程度を掛けまして設計を完了させ、工事着手という流れになりますので、これから約1年後がこの位置となります。

新校舎を建設するための工事期間については、現時点で2年程度を想定しているため、これから約3年後に新校舎を完成させることを目標に、市と事業者が一体となって事業を進めていく予定となっています。

新校舎の供用が開始しますと、今度は、既存の小・中学校の校舎をほぼ同時に解体し、跡地を校庭に整備する外構工事を実施する予定となっておりまして、工事関係につきましては、令和10年中に概ね完了するようなスケジュールとなっております。

工事に関するスケジュールについては、後程、事業者の方から、補足説明をさせていただきますのでよろしくお願いします。

なお、新校舎の本格的な工事着手はこれから約1年後ですが、そこに向けて

先行して実施する工事があります。

まずは今年度、これからになりますが、中学校の校舎と校庭の間に、中庭といいますか、樹木を植えている植栽帯がありますが、その箇所をグラウンドの仕様に変える工事をこれから実施します。

また、来年度には、中学校のプールの解体工事も先行して実施する予定となっています。

このため、これから、約5年間が実質的な工事期間となりますので、近隣住民の皆様や保護者の皆様には、長期間御迷惑をお掛けすることとなりますが、御理解と御協力をお願いしたいと思っていますのでよろしくお願ひいたします。

改築だよりの裏面を御覧ください。事業者からの提案資料を一部掲載しておりますが、この後の説明の資料とも一部重複するものありますが、市ホームページの方にはこれ以外の資料も公表させていただいております。

本日、御用意した資料は白黒刷りの印刷物となりますが、カラーのものがホームページの方に掲載しておりますので、後程、御覧いただけたらと思います。

掲載場所については、QRコードを読み込んで入っていただくと「学校の改築（市立若葉小学校・第四中学校）に飛びます。そこから「事業実施に向けた取組」、続いて「(10月15日更新) 若葉小学校・第四中学校改築だより」と順に入っていただき、「(議案第82号に関する資料) 調布市立若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館に係る特定事業契約図面」をクリックしていただくと閲覧できるようになっています。

ここに掲載しているものが、現時点で公表できる全てのものとなります。

この後、提案された事業概要の説明をさせていただきますが、基本的には提案された事業概要がベースとなって今後の事業が展開していくこととなります。

このため、このような提案内容を市は採用しましたということについて、市民の皆様に速やかに情報的提供する場として本日の事業概要説明会を開催させていただくこととしました。

ここで、最初にお断りをさせていただければならないことがあります。それは、これから説明させたいただく提案された事業概要について、一部、既に変更ができない部分があるということです。それは、建物の規模や配置については、変更がほぼできない状況にあることを御承知おきください。

しかし、建物の中の教室の配置等については、我々としても、まだプランの変更をお願いしなければならないことはいくつかありますので、今、まさにその協議を事業者と始めた矢先という状況で、最終的な校舎内の各階の平面プラ

ンについては、これから決定されるという状況です。

したがいまして、このあと質疑の時間を設けさせていただきますが、御意見や御要望をいただいた内容によっては、既に対応ができない場合がありますので、そのような内容については大変恐縮ではございますが、対応できませんという通り一片のお答えとなってしまう場合がありますことを御承知いただくとともに御理解をお願いしたいと思います。

また、検討を要す内容については、この場で出来る・出来ないの判断が難しいので、いったん持ち帰らせていただいた上で、検討するということで御了承をお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

最後に、これまでの間、市からの情報提供が少なすぎるのではないかと考えている方もいらっしゃるのではないかと思っています。正直に申しあげまして、公に公表できる内容がほぼなかったというのが実情です。一例で申し上げますと、当初、我々が考えたプランでは5階建てを想定していたところです。しかし、実際には今後建築する校舎は4階建てです。

これは、事業者の選定を価格と事業内容で決定するコンペ形式にしたため、事業者側では4階建てで建築する方がよい提案であると判断し、プランを提案してきました。そして、審査委員会において4階建てのプランがよりよいと判断をしたということになります。

このように、これまで市が持っていた情報というのは、想定の域の話であり、決定事項ではない状況でありましたので、不確定な情報を出すことにより誤解が生じたり、また、その情報が、違う方向にひとり歩きしてしまうことは避けなければならないので、我々としても、確実な情報としてお出しできる情報がなかったというのが実態ですので、この点についても御理解をいただきたいと思います。

それでは、引き続き、提案された事業概要につきまして、事業者の方から説明をさせていただきます。

【司会】

続きまして、事業者の方より、本事業の提案内容について御説明させていただきます。

伊藤喜三郎建築研究所の山寺からは提案プランについて、青木あすなろ建設の久保田からは工事計画について、それぞれ御説明させていただきます。

【事業者説明（伊藤喜三郎建築研究所）】

それでは、提案しました事業概要について説明をさせていただきます。

先程、市から説明がありましたとおり、今回の入札に関しましては、価格と

内容によるコンペ方式でありましたので、我々のチームとしましては市から求められている要求水準書を熟考し、検討に検討を重ね、プランを提案させていただきました。

提案書の提出まで限りある時間の中での作業でしたが、ベストの提案ができたと思っており、最終的に我々が提案したプランを採用していただきました。

それでは、こちらの資料を御覧ください。まずは配置図です。

現小学校の敷地に中学校の校庭を、現中学校の敷地に小・中学校の新校舎と小学校校庭、図書館若葉分館を建設します。

建物の位置については、校舎が完成してから既存校舎を解体するため、現中学校の校庭に建設します。

建物と道路の間には常緑樹を中心とした緑地帯を設けます。図書館若葉分館の前は憩いの広場とし、地域の方々に開放します。

少し見にくいくらいですが、赤い三角形の記載が出入口となります。歩車分離を行い安全性に配慮します。児童・生徒は仮称若葉ストリートに面した昇降口からアクセスします。

体育館は、既存体育館、1階の小学校体育館、3階の中学校体育館があり、地域開放を行います。また、災害時には避難所施設にもなる想定です。

校庭は表土飛散防止対策としてグリーンダスト舗装を行い、周囲には防砂ネットや防球ネット、フェンスを設置します。

道路に歩道の無い部分、図面で言うと小学校教室群の東側には、仮称若葉ストリートまでの通学を安全に行えるよう敷地内に歩道を整備する予定です。

建物は4階建ての鉄筋コンクリート造一部鉄骨造です。先程説明にありましたがおり、5階建てではなく、4階建てとしました。近隣様への配慮として、なるべく建物高さを抑える計画とし、また、児童・生徒、教職員の利用動線を考慮した結果です。

それでは各階の説明です。1階です。

先程説明しました、仮称若葉ストリートの中央に昇降口がございます。小学校、中学校を分離した昇降口となります。

また、学校図書館であるメディアセンター。そして、その右側に開放する若葉分館。緑色の部分が小学校の体育館となります。

左上のピンクの部分は管理諸室、職員室となります。そして左下のオレンジ色の部分が特別支援教室の位置になります。

次に2階です。図面の上側、北側が中学校の教室群、図面の下側、南側が小学校の教室群です。それぞれ、オレンジ色で着色されているところが、普通教室となりまして、南に面しています。

また、水色で表されているところがそれぞれの特別教室になっています。

緑色が小学校の体育館の上部になります。

3階です。2階と同様の構成になっていて、緑色の部分が中学校の体育館となっています。

4階です。4階も同様の構成となっております。新しい学びの教室という教室が各階に分散して設置させていただいております。

また、緑色のところが中学校の体育館の上部になります。

4階はテラス等の配置もございます。

南側から見た透視図です。手前の道路を挟んだ向かいの建物からは、学校建物まで約20メートルの距離があります。

建物は大きなボリュームができるだけ分割し、威圧感を軽減しています。

バルコニーは細かく手摺の表情を変え、リズムを付けることで、楽しく明るいイメージにしています。

外壁の色は、地域に溶け込む柔らかい配色とします。

東側から見た透視図です。図書館若葉分館と広場が手前に見えます。広く地域を開くために、図書館エリアについてはフェンスを設けません。

学校との境目にセキュリティを守るために高いフェンスを設けます。緑の多い、地域の憩いの場になるよう計画します。

北側から見た透視図です。左に体育館と右に特別教室の窓が見えています。左の半透明な部分は既存の体育館となります。校庭は先程説明しましたおり、グリーンダスト舗装、防砂・防球ネットを設置します。詳細な場所は未定ですが、PR・展示スペースを設け告知や展示を行います。

こちらが、図書館の平面ゾーニングプランです。上の赤い三角形がメインのエントランスとなります。そこを入ってすぐ右側におはなし室、ピンクの部分に児童エリア、薄い黄緑の部分が一般エリアとなります。濃いピンクのエリアは管理エリアで、事務室等のエリアになります。濃い緑の部分がトイレとなります。

外側にオレンジ色で記載されていますここがテラスエリアになります、外で本を読めるようなエリアになっております。

以上が図書館ゾーンのエリアです。

【事業者（青木あすなろ建設）】

続きまして、工事の実施に際して、どのようなステップを踏んで工事を進めていくのか、主に工事の安全対策について御説明したいと思います。

工事のステップ図ですが、画面のとおりステップ1、ステップ2、続けてステップ3、ステップ4と、大きく4つのステップに分けて御説明させていただきます。

全てのステップ、共通する事項・安全対策を中心に御説明させていただいまた。

近隣道路を含めて、工事関係車両は徐行運転をするとともに、現場周辺を含めて工事車両が駐車することはございません。

また、工事中は場内散水養生を行い、粉塵の飛散防止を図るとともに、現場車両の退出の際にはタイヤ洗浄を徹底しまして、周辺の道路汚損に配慮いたします。

また、周辺への振動防止につきましては、場内走行時は特に徐行運転に注意し、騒音、粉塵飛散防止に配慮いたします。

解体工事に際しては、低騒音型重機を使用いたします。打撃ではなく油圧による破碎機を使用し、騒音の低減・抑制を図ります。

このほか、工事の状況に応じて防音シートを設置し、騒音抑制及び粉塵の飛散防止を図ります。

それでは、それぞれ工事の進み方にあわせた安全対策について御説明いたします。

最初に、画面左側、ステップ1です。ステップ1では仮設工事と中学校プールの解体を実施いたします。期間としましては、令和7年8月から令和7年11月を予定しております。画面にある赤いエリアが工事のエリアとなります。中学校のプール解体並びに仮設事務所等の建設に必要な最低限の工事を南側のエリアで行います。できるだけ少なく仮囲いを設置するように計画しております。解体時の出入口の管理と安全対策にはもちろん万全を期します。基本的に都道側、陸橋のある交差点からのみ工事車両の出入りを行う計画となっております。

続きまして、右側のステップ2です。新校舎の新築工事の御説明です。期間としましては、令和7年12月から令和9年12月を予定しております。中学校のグラウンドを最大限確保できるように工事エリアを設定しております。

工事車両、特に大型重機の搬出入への配慮としまして、交通誘導員を適切に配置しますが、必要に応じて増員し、安全に最大限配慮いたします。

続きまして、次のページをお願いいたします。ステップ3です。こちらは新校舎の使用開始とともに、現小・中学校の解体、あわせて小学校の校舎の改修・中学校体育館の改修を行います。こちらの期間は令和10年1月から令和10年7月を予定しております。ステップ3ですが、新校舎のグラウンドと元小学校のグラウンドができる限り、最大限利用できるように工事エリアを設定します。

中学校の建屋解体の際には、高さ3メートルの仮囲いを設置しますが、その上に防音シートを設置、二重の対策で騒音を防止し、粉塵も抑制するように図

ります。

最後にステップ4です。こちらグラウンドの整備と既存の小学校側の給食室の改修工事期間となります。令和10年7月から令和10年12月を予定しております。

新校舎のグラウンド、画面で見ますと真ん中の下の方、ピンクのところになりますが、こちらができるだけ早く先行します。できる限りこちらを完成させ、早めに新しい校舎とともに、引き渡せるように配慮し、先行して工事を行いたいと考えております。あわせて、画面の北側の若葉小学校側のグラウンド整備と給食室の改修工事を実施いたします。

以上がステップごとの御説明となります。

最後になりますが、改めて工事全般を通して安全への配慮事項を御説明します。

今回の工事は学校の敷地内と住宅街での工事となりますので、騒音・振動が少なくなる油圧気による破機、ダダダという打撃の機械ではなく、ガシガシと握り潰すような形の機械、こちらを主に使用いたします。それにより打撃による破碎音を少なくするように注意させていただきます。

また、大型重機類の操作・場内での移動時には、低速で移動するように配慮し、振動だけでなく騒音も低くなるように配慮させていただきます。

このほか、登校時、7時半から8時半にあたるかと思いますが、こちらは工事車両の通行を制限します。大型車の通行はいたしません。

また、工事車両が出場する、場内から出てくる際には、出口のところにセンサーを設置し、センサーの感知に連動して回転灯を回転させて、交通誘導員とともに、歩行者への注意喚起を行います。

作業日や時間は原則として月曜日から金曜日の8時から18時とします。学校行事や工事の進捗により、市や学校と隨時協議させていただき、場合によっては工事の休工対応などを含めて柔軟に対応させていただきたいと思っております。

以上が工事の御説明となります。

【司会】

続きまして、質疑応答に移ります。質疑応答に当たり、2点お願いがございます。

まず1点目です。御質問のある方は、手を挙げていただきまして、私が御質問者を指名させていただきます。係の者がマイクをお持ちしますので、マイクがお手元に届いてから御発言していただきますようお願いいたします。

次に2点目です。御発言の際には、最初に「若葉町1丁目の森木です。若葉

小学校の保護者です。」といったように、お住いの町名と丁番と併せて、お名前を支障のない限りで結構ですので、お伝えください。また、学校の保護者の方は、学校名も併せてお伝えいただきますよう、お願ひいたします。

なお、質問者が多い場合には、会場の都合上、午後7時50分を目途に一旦打ち切りさせていただき、残りの質問者の人数を確認させていただきます。大変申し訳ございませんが、8時を目指に終了とさせていただきたいと思っておりますので、御了承ください。

それでは、御質問のある方は、挙手でお願いします。

【若葉町1丁目〇〇】

入間町1丁目の〇〇です。現在の小学校のすぐそばに住んでいます。

主に、2点御質問したいと思います。ひとつは図書館分館についてです。自治体によっては、図書館を統合していく動きがあるかと聞いていますけれども、その中で分館をしっかりと残していくだけるとわかってとてもうれしく思っています。ひとつ、図書館の内部のゾーニングについて伺いたいのですが、会議室のようなものは確保されるでしょうか。今は小さい会議室が分館にあるのですけれど、なかなか開放されておりません。この地域は会議室的なものが不足しているという環境ですので、ぜひそういう部屋があるといいなと思っております。

それから、校舎の上、屋上に、イラストを拝見しますと太陽光パネルが乗っかっているように見えるのですが、これはどれくらいの出力、規模のものを乗せる計画でしょうか。再生可能エネルギー、特に公共施設で、しっかりと整備していくことはこれから将来にとても大事だと思っていますし、この小学校・中学校は特に災害時の避難場所にもなると思いますので、そういう非常時に利用できるような、そういう設備として太陽光発電、もちろん、そういう場合には蓄電池も備える必要があると思うのですが、そういう風な総合的な施設として考えていらっしゃるのでしょうかということを伺いたいと思います。

それからもう一つだけ。給食室が先程のゾーニングの中にありましたけれども、子ども達が集まって食事を取れるような食堂と言ったものは考えていないのでしょうか。そういうものがとても欲しいなと思いましたがいかがでしょうか。以上です。

【図書館佐藤係長】

図書館の佐藤と申します。御質問ありがとうございました。集会室の件ですが、今の分館にもありますが、新しい施設の中につきましては現在検討中というところで御理解いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

【若葉町1丁目○○】

ぜひ造ってください。

【榎本係長】

太陽光パネルにつきましては、現在は40キロワット以上を検討しております。蓄電池につきましては、おっしゃるとおり、今後災害時などで必要となつてきますので、緊急時に備えて整備する計画であります。以上です。

【関口施設担当課長】

最後の御質問の子ども達が給食を食べる部屋の御質問をいただきましたが、過去にはランチルームと言う言い方をしていましたが、今は教室で食べている状況です。過去にはランチルームを造って、学年ごとにお昼はランチルームに移動して食べるということも行っておりましたが、今回は入っていない状況です。

まずは、若葉小学校の児童数が多いため学級数が多いということ。その子ども達が中学校へ進学しても来ますので、教室数が相当数あるといった状況の中で、部屋を移動してお昼を食べるスペースを確保できないので、今回は施設にランチルームはありません。

しかし、これから子供たちが減少していくと、余剰教室と言って、使わない教室も発生して参ります。そのタイミングではそういった活用ができる部屋も用意できますので、少し運用面で変えていけるような状況かなと思います。そのため今回の整備の中では、そういった子供が集まって食べるといった部屋はないと理解していただければと思います。以上です。

【司会】

次に御質問のある方。

【若葉小保護者】

若葉小の保護者の○○と申します。

今、若葉小の体育館、運動場に仮設の教室があるんですが、以前は遊具がたくさんあったのですが、一切なくなつた状態で、今後小学校の運動場に遊具を検討されているようであれば、どんな遊具を検討しているのか教えていただきたいのと、私の子どもはできるころに中学生になるんですが、なるべく早く遊具がある環境でできるようなことを検討いただきたいと思います。今は何もないでの、かわいそうだなと思っております。以上です。

【関口施設担当課長】

これまでの計画の中で、学校と運動に使える遊具の設置については、協議を重ねた状況です。遊具を設置するとなるとスペースが必要になるので、なかなか学校としては付けたいのだけどスペースを取られるのも困るということで数年前に雲梯をつけた状況です。

現時点では、更に何を増やすかということは学校と話を重ねている状況であります。しかし、こちらの中学校の校庭で工事が始まることによって、運動スペースがなくなるため、そこを少しでも確保したいことは学校から聞いております。現在の敷地の中で動けるスペースを確保するには屋上しかないのでですが、現状の屋上の仕様はそのようになっておりませんので、マットをひくなど、できるだけ身体を動かせるスペースを確保するということについては、学校とも調整をしながら、教育委員会としてもできることを積極的にしていくたいと考えております。以上です。

【司会】

次に質問のある方。お願いします。

【若葉町3丁目○○】

若葉町3丁目の○○と申します。

3点質問がございます。私の家は南側の丁度門があるところの目の前になるのですが、3点の質問の中の1つ目がプライバシー保護に対する対策について、どのようなことを考えてられるのか。

2つ目が、子どもさん方の音声、騒音とは申しませんが、音声の対策についてどのように考えておられるのか。

3つ目が、南側の道路のところに歩道を設置すると先程おっしゃったかと思うのですが、その歩道というのは校舎の敷地内に造られるということだったかと思いますが、一般の方も使えるのか、そして校舎から道路のフェンスまで20メートルとおっしゃっていたかと思いますが、その歩道を含めて20メートルということでしょうか。

校舎自体は非常に素晴らしいと思います。よろしくお願いいいたします。

【事業者（伊藤喜三郎）】

先程の質問に答えさせていただきたいと思います。

まず、プライバシーに関してですが、こちらは校舎の中からの視線という意味でよろしいでしょうか。

【若葉町3丁目〇〇】

そうですね。

【事業者（伊藤喜三郎）】

少し説明させていただいたのですが、バルコニーを設置させていただいております。こちらの設置目的としては、生徒の落下防止ではあるのですが、手すりなどを設置して、視線を若干ですが遮る設えをさせていただいております。

次の音声についてですが、今回使用させていただくガラスは複層ガラスを今のことろ予定しております。メインの目的は断熱となります、複層であることから音の問題も若干減衰できると考えております。

なお、音楽室等の教室については北側に設置させていただいております。

また、歩道の話についてですが、敷地内ではありますがフェンス等を設けるわけではないので、住民の方々も使っていただけるものとなっております。敷地内ではありますつも普通の歩道と同じように使えるよう整備する予定です。

距離については、学校の建物、その前の緑地帯、先程の歩道、道路の全てを含めて約20メートル程度でございます。

【若葉町3丁目〇〇】

フェンスから校舎ですか。道路を含めて20メートルですか。

【事業者（伊藤喜三郎）】

今、画面で赤く示しているところ、校舎からです。

【若葉町3丁目〇〇】

校舎から20メートルということですね。

【事業者（伊藤喜三郎）】

そうです。

【若葉町3丁目〇〇】

向かいの住宅の壁面から校舎の壁面までが20メートルということですか。

【事業者（伊藤喜三郎）】

向かいの敷地からです。

【森木副主幹】

敷地境界線から学校の校舎までが約20メートルです。

【若葉町3丁目〇〇】

道路も含めてですね。

そうすると、学校の敷地から校舎までは15メートルくらいですか。

【事業者（伊藤喜三郎）】

その程度です。

【若葉町3丁目〇〇】

正確な距離はどれくらいですか。

先程の説明はフェンスからとおっしゃったと思うんですが、建物からということですよね。その説明で道路を含めてと一切おっしゃらなかつたと思いますし、その説明は誤解を生むような説明だと思います。実際に敷地内は、校舎から道路まではどれくらいあるんでしょうか。それが重要な数字なんじゃないかなと思うんですが。

【関口施設担当課長】

実は、昼間の説明会でも、南側ではないですが、西側の隣地境界と建物とは離隔がどれくらいですかという質問をいただいております。それについても今日はお答えしておらず、図面に離隔距離を示したものを後日ちゃんと出してくださいという要望をいただいております。そのため、近隣との距離感についてはわかるような形にして、後日改めて提示をさせていただきます。

【若葉町3丁目〇〇】

ちょっと想像していただきたいんですけど、家の前に4階建ての建物がいきなり建つんですよね。そう考えたときに、建物までの距離は我々にとってはとても重要です。それが今の説明の時点で正確な距離が分からぬというのはちょっとおかしいんじゃないかと思うんですが。

ついでに要望で言うと、なるべく離していただきたいというのは私の要望なんですが、その距離を今日きちんと説明いただけないのであれば要望を申しあげることもできないですし、そういうことをあまり重要視していないという風に私としては、そう捉えてしまうということもあるんじゃないかと思います。

そして、説明の仕方で道路を含めて20メートルという、非常にあいまいな説明で誤解を生みますよね。私は敷地のフェンスから建物までが20メートル

という理解をしていました。そのため、この質問をしなければ、校舎からフェンスまで20メートルあるんだなと理解したんですね。

【事業者（伊藤喜三郎）】

私の説明が大変わかりにくく、申し訳ありませんでした。

私のほうでも、実際に自分の家から校舎までがどれくらい分かったほうがよいかなという認識で今回の説明とさせていただいておりました。申し訳ございません。

【若葉町3丁目〇〇】

だって、私の家の庭の広さや建物の大きさなんてわからないでしょ。そう言ったら。今の説明はおかしいと思うんですよ。道路ぎりぎりに建物が建っているわけではないですから。

【事業者（伊藤喜三郎）】

わかりました。約20メートルと申しあげたのですが、場所によって湾曲しているところもございますので、こちらの図面にしっかりと寸法を記載させていただいて、ほかのところもあわせて後日御呈示させていただければと思います。

【若葉町3丁目〇〇】

わかりました。私ばかり時間を使ってしまって申し訳ないのですが、もう1点だけ。

私は窓を開けた状態での騒音対策の質問でした。そこについて今御回答いただけるのであればお願いしたいです。窓が閉まっている状況であれば騒音はほとんどないと思います。そういうところも質問の意図をきちんと理解していないのかなと疑問を持ちました。

【森木副主幹】

そうしましたら、今の最後の御質問についてですが、実際に窓を開けながら授業を行うことも考えられます。そのため、皆様のお住まいの前に樹木等を植えまして、それが緩衝材としての役割をするとも考えております。現時点ではそういう対応を考えておりますので、御理解いただければと思います。

【司会】

それでは次の方に移ります。奥の方。

【若葉町1丁目○○】

若葉町1丁目の住民の○○です。ちょっと聞き漏らしたかもしないので伺います。

今おっしゃっていた窓を開けた状況の話ですが、教室の冷暖房は一体どうなっているのか。それから、図書館の説明がさっきありましたが、図書館が2階建てなのかこの図面ではよくわからないのですが、一般の市民が利用するのは1階だけということでしょうか。つまり、2階建てなのであれば階段なのかエレベーターがあるのかということが聞きたい。それは図書館だけでなく、校舎全体についても、移動は全部階段なんですか。エレベーターというのはどこに設置されているのかなと気になって聞きました。つまり、給食室が1階だとして、今までのよう教室で食べるのであれば必ず運びますよね。給食を運ぶための設備があるんだろうなと思いますが。あるいは、教職員の方々が授業の1時間毎に階段を昇ったり降りたりするのかなと。4階まで往復するという仕事をこれからも続けるのかなと。エレベーターの問題を聞かせてください。

【森木副主幹】

今、3点。空調、図書館の階数、そして校舎のエレベーターの件でよろしいでしょうか。

まず、空調については全教室について設置する計画となっております。

次に、若葉分館についてです。若葉分館の部分に関しましては、1階の平屋という形になりますので、今の分館の2階建てから1階の平屋という形になります。そのため、図書館内での上下移動はないということになります。

最後に、校舎のエレベーターに関しましては、今はバリアフリーという考え方方もございますので、校舎内にエレベーターを設置いたします。また、給食の運搬の際にもそのエレベーターを使用して上階へ運ぶ計画となっております。以上です。

【司会】

それでは次の方。

【若葉町3丁目○○】

若葉町3丁目の○○と申します。

生徒さんの出入口について、ひとつ聞きたいんですけど、通常の出入口は若葉ストリートとおっしゃっていたんですけど、若葉小に向いた面に正門を設けるということでしょうか。

また、何か所か出入口があるようですが、こちらについてはどのような時に使われるのでしょうかお聞きしたいです。

あと、既存のプールについてですけれども、小学校のプールを既存で残すということですけど、中学生はどこでプールをするのかなと疑問なんですが。小学校プールだと中学生には少しこそさいかなと疑問があります。

また、既存の屋内運動場とはこの体育館でしょうか。この体育館とプールを残すということであれば、これらは改修工事を一切されないということでしょうか。お願いします。

【関口施設担当課長】

まず、出入口については、正門の数ということでしょうか。

【若葉町3丁目〇〇】

いえ、通常の登下校に使用される門のことです。

【関口施設担当課長】

配置図を見ていただいて、今の画面、向かって右側が南側になるのですが、丁度その真ん中に登下校の門があります。

【若葉町3丁目〇〇】

南側に登下校門ができるんですか。

【関口施設担当課長】

南側に1か所つきます。

【若葉町3丁目〇〇】

そうすると、その道路からいきなり生徒さんは歩道のないところに向かって渡るんですか。

【関口施設担当課長】

学校敷地側に子ども達が通れる空間を整備しよかと…

【若葉町3丁目〇〇】

じゃあ、学校敷地内側の歩道というのは通常の人も通れるという歩道ですかね。

【関口施設担当課長】

そうです。それから、既存の中学校の北側に車の出入りの門があるんですけど、だいたいその位置から登下校ができる形で、子ども達は北側と南側から登下校できるような…

【若葉町3丁目〇〇】

北側と南側。真ん中の点ですかね。

そこの点に入るために、内側からはどこから入るんですか。歩道というか。

南側の門を使うために、そこまでどこからの歩道を使うのですか。

【関口施設担当課長】

メインは都道を超えた東側からくる子が来て、そこからまっすぐ…

【若葉町3丁目〇〇】

そこから下には歩道はないということですか。

【関口施設担当課長】

今回、歩道の空間をつくる…

【若葉町3丁目〇〇】

そこもつくるんですか。

そして一番下にある点、右側の一番下の点。そこは出入口ですよね。

【関口施設担当課長】

車両…

【若葉町3丁目〇〇】

車両だけですか。そこからは子ども達は入らない。絶対に。

【関口施設担当課長】

今は入らない予定です。

【若葉町3丁目〇〇】

じゃあ通常は閉めていただいて、指していただいているところが上からの子ども達、下からの子ども達はいったん上がって、横断歩道を渡って、また下に下りるということですか。

【関口施設担当課長】

そうですね。

【若葉町3丁目○○】

じゃあそこの門は開いていないということですね。いつもは。開いているのか。

【関口施設担当課長】

基本は登校時間が終わると安全管理上閉めている状況です。

【若葉町3丁目○○】

丁度、家がその前なんですけど、そこを結構渡る子が出るんじゃないかなという不安が。車も結構通るので。そこを開けていただくと、そこを渡る子が居るんじゃないかなと思うんですけど。どうなんでしょう。

【関口施設担当課長】

恐らくNTTの方から来る子というのは、都道から入って…

【若葉町3丁目○○】

そうですね。

【関口施設担当課長】

渡った部分で道路を超えて…

【若葉町3丁目○○】

そこから入る。ただ下から来る子もいるじゃないですか。そっちの方面から来る中学生、小学生たくさんいるんですね。その子たちはいったん角まであがって、横断歩道を渡って内側の歩道を通って入ってくるということですか。

多分そこを渡る気がします。

【男性A】

内側の歩道ないんじゃないんですか。写真みても。

【関口施設担当課長】

今は提案の図面なのでない状況です。

【男性A】

じゃあこれは別のに変わるということですか。

【関口施設担当課長】

提案してもらった内容は歩道がない状況でしたので、そこに子ども達が歩けるような空間を設けてくださいと要望して、修正をお願いしている状況です。

【若葉町3丁目○○】

歩道をつくってもらうように修正しているということですか。

【関口施設担当課長】

そうです。

【若葉町3丁目○○】

ただ、右側の門の前面に歩道をつくるということですよね。

学校敷地内に。

【関口施設担当課長】

中央から下については検討している状況です。

【若葉町3丁目女性】

ただそこの門が開くことによって、そこを横断する子は絶対にでると思うんですよね。割と朝の時間って通行量が多いので、そこを開けると危険かも。

【男性A】

ガードレール

【若葉町3丁目○○】

ガードレールが校舎側にはないのと、公園側にはあるんですけど。結局、でも、跨いで斜めに渡る子ができるのかなとすごく不安に思います。

【男性A】

一方で、門の真正面に横断歩道があると、そこからまっすぐで飛び出す子がいるという考え方もあるので。稲荷前のバス停とかの方ですよね。

【若葉町3丁目〇〇】

そうです。そこから。

【男性A】

入間川の方から来る子ども達が、どうやったら安全に、要はこっちの方が便利だという考え方でばつといかないような横断歩道の整備というところを考えて、提案して欲しいってことですよね。

【若葉町3丁目〇〇】

そうですね。

【関口施設担当課長】

我々もそこは懸念している状況なので、今はそこをどれだけ出来るかというのを事業者と詰めている状況です。

【若葉町3丁目〇〇】

お願いします。

【関口施設担当課長】

プールについてですが、現状では中学校のプールを壊します。それから若葉小のプールを暫定で残すことになっております。この学校に限ったことではないのですが、今、プールの在り方を検討している中で、やはり施設の老朽化もあり、これから更新を控えているところと、毎年補修しているところもありますが、使用するのが夏場だけなのに、すごくお金がかかっている。コストパフォーマンスが悪い状況なんですね。年間ずっと使っているわけではないので、夏場の限られた期間、2か月、3か月のためにお金がかかっている。これから更新の必要もでてくるという、プールを維持していくためにもお金がかかる状況とあわせて、私達の年代が子どもの頃は暑くなれば必ずプールに入れる状況だったのが、今は暑すぎて入れないという状況があるため、現実的には曇りのときでないと入れないという状況になってくると、本当にコストパフォーマンスが悪いので、学校に屋外プールがあることがいいのかどうかということを議論している状況です。

そういう背景もあり、東部地域には、ちょっと距離は離れますがあわせても、調和小学校に屋内プールがあるので、今年度は若葉小の5、6年生を対象に調和小学校へ行って水泳指導を行っています。その成果がそれなりに出ている状況であり、中学校については一定期間プールがなくなりますので、その代替として若

葉小のプールを使うか、調和小に行くことを考えております。

そういうことをやりながら、今後屋外で授業を行っていくのか否か、屋内プールに移動して確実にやっていくことがいいのかを並行して考えていく状況のため、最終的にプールの授業をどうするかの結論には達しておりませんが、現時点では1か所屋外でもできる形を残すため、暫定的に若葉小のプールを残すこととなっています。ただ、なかなか屋外だと難しいので、そこは引き続き検討していきます。

既存の体育館については、残した状態で当面使います。何年か前に内装や外壁を工事して、ひととおりリニューアルが終わっている状況で、それをすぐに壊すのはもったいないという状況ですので、当面の間は新しい校舎の小・中用の2つを使用しながらここも使って、実際には3つの体育館を使用しながらやっていく状況になります。そして、どのタイミングでこの体育館を壊すかは、まだ先の話になりますので、一旦はそういった形で運用を考えています。

しかし、小学校の方については老朽化の問題もあるので、全部壊して更地にし、運動場に整備する予定です。

【司会】

予定時刻を過ぎておりますので、今、手を挙げていただいている5名の方で終わりとさせていただきます。

【入間町2丁目〇〇】

入間町2丁目の〇〇です。若葉小学校の保護者です。2点、かぶる点、私の勉強不足なんでしょうが。まず、この説明会の開催をありがとうございます。

今回、小学校と中学校が一体となった校舎ということなんですが、今、インクルーシブ保育、教育、色々な身体的特徴や年齢差を感じない環境で育っていく。それは当然、中学になって、そういうことが教育の中に進んできている、色々な行政の中に浸透し始めていると私は理解していて、そういうことを提供する機会のひとつかなと。調布市の中で実践する数少ない事例のひとつになるのかなと捉えました。そういうところに対する認識だとか、捉え方、どのように考えたのか、あるいは考えなかったのかということがあれば御意見をいただければということが一つです。

そして、グラウンドについて、今の子ども達はコロナで、特に今の小学生高学年生はコロナやプレハブがあってグラウンドが使えない、色々な制約がある中で育ってきた子ども達なんですね。そういう子達が、またグラウンドが使えない。ちょっと悲しいところもあるかなと。それをカバーというか、その当たりをどのようにお考えなのか教えていただければと思います。

【関口施設担当課長】

まず、全国的に、小・中一貫教育という形ではありますけれども、今までとは小学校6年間、中学校3年間で義務教育を終わらせる9年間を通した教育、それが小・中一貫教育で、そういう学校をつくっていくという自治体がある中で、調布市では小・中一貫校をつくるということまでは達していません。

しかし、小・中連携教育といって、小学校から中学校へ繋がる教育課程の中では、途切れず連続するように、小学校・中学校が連携してやっていくところを教育プランとしても位置付けています。

その先に、小・中一貫があると思っているので、小・中一貫校をつくるわけではありませんが、小・中学校を一体につくることによって同じ屋根の下で小学生と中学生がいることとなり、その連携がうまく進むことを期待して、モデル校的に今回的小・中一体の施設に踏み切ったというところです。

グラウンドについては、工事期間中に少しでも運動できるスペースを確保したいということで事業者に提案をした状況です。そうは言っても限られた土地の中で、学校運営をやりながら新校舎を建てなければならないので、なかなか十分なスペースがとれなかつたんですけども、その中で少しでも活動できるエリアとして、今の（第四中の）既存の校舎とグラウンドの間に大きな樹木が植わっているスペースがあるのですが、そこを運動できるスペースとして確保できるような工事計画を今回提案してもらったところです。今の段階ではここまでが最大限配慮できるような状況だったところです。あとは今後どこまでそういうったスペースを確保できるか、どういう運動ができるかということについては、色々検討していきたいと思っております。

【入間町2丁目〇〇】

ありがとうございます。インクルーシブの考え方って、まだ全然世の中浸透していないこともあって、設計者あるいは市のソフト面の方かもしれません、建ってからでもできることかもしれないんですけど、今後検討できることがあると思いますので。

あと、最後に色々な方の御意見が出ているんですけども、資料を近隣の人、保護者、色々な目線でここが気になるなというところにフォーカスした資料が、密度のある資料があるといいのかなと思いました。ありがとうございます。

【司会】

ありがとうございます。続きまして、どうぞ。

【入間町2丁目○○】

本日はありがとうございます。入間町2丁目、若葉小保護者の○○と申します。

先程の質問にあったインクルーシブ教育にかかるところかなと思うのですが、小・中の位置付けについては理解できました。

それよりは、障害の有無というか、この設計図の中でも1階の特別支援教室と、4階の新しい学びの図が小学校と中学校のどちらを対象としているのかというところ。利用目的というかどういう風に使われるのかが気になっておりますので教えていただけますでしょうか。

【関口施設担当課長】

まず、特別支援教室の設置の考え方についてですが、今、調布市でやっている特別支援教育というのは、知的固定学級については、ある程度拠点指導校という状況で、中学校については、神中と三中でやっている状況です。

それ以外の情緒障害学級については、通級教室といって先生が各学校を定期的に巡回している状況です。この2つが大きな特色の中で、やはり知的固定学級については、東部地域では小学校で言うと滝坂小、中学校で言うと三中が一番近い状況の中で、将来的には新たに必要だと考えております。

しかし、先に固定級を設置しようとすると、なかなかスペースが確保できない状況であり、学校の校舎の中のどこかにあればいいというものでもなく、そういういたゾーニングを考える必要があることから、今回の新築工事の中では1階部分に配置するといった形で、いったんスペースは設けている状況です。後からつくるとなると、なかなかスペースを確保できないため、一旦はそういうたたきを確保しながら、今度は実際にそれを使った体制を整えられるかどうかということを、今後、教育委員会でも検討を進めていくような状況であります。

【司会】

よろしいでしょうか。

それでは、続きまして正面の方。

【東つつじヶ丘○○】

東つつじヶ丘の○○です。若葉小と四中の保護者です。

図面を拝見したのですが、開かれた図書館と小・中ということですが、セキュリティの方はどうなっているのでしょうか。

今は、校門は子ども達が授業している時間は閉まっていると思いますが、木とかも図面を見るときこう低く植えられていて、不審者への対応とかがどうなっているのかと思ったのですが、図書館の方から一般の方が学校側へ来ることはないのでしょうか。どのように対応するのかなと思いました。よろしくお願ひいたします。

【事業者（伊藤喜三郎）】

少し見にくいくらいですけれども、図書館のエリアと小学校のエリアの間のフェンスは3メートル程度のメッシュフェンスを予定しております。また、テラスからの延長にもフェンスの設置を予定しております、完全に図書館エリアと小学校・中学校エリアを分けています。セキュリティとして位置付けております。また、小・中学校エリアの周囲にもフェンスを設けております。

【司会】

よろしいでしょうか。それでは次に正面の方。

【若葉町3丁目○○】

若葉町3丁目の○○と申します。若葉小の保護者です。

質問は3点あります、1点目が既存の若葉図書館の土地はどうなるのかということ。2点目が図書館の開かれた公園部分、テラス部分の夜間利用、閉めるのかどうかということをお伺いしたいです。また、今、予定されている小学校の教室について、単純に考えると廊下があると思うんですが、教室が5個入るようなイメージでしょうか。図面をみると、そんなに、縦長というか、横長、後ろから入るような感じなのかなと、なかなかイメージがつかなくて。間取りを教えていただければありがたいです。以上です。

【図書館・佐藤係長】

図書館の佐藤です。御質問ありがとうございます。

今入っている若葉分館の跡地については、現在は何も決まっていない状況です。また、図書館の夜間の運用ということですが、今の開館時間を延長するという計画は今のところはないので、今の開館時間で御利用いただくことを想定しております。

【若葉町3丁目○○】

そうすると、開館時間以外は公園スペースについても閉じるという認識でしょうか。閉館したら。

【図書館・佐藤係長】

そこは開いています。

【若葉町3丁目〇〇】

開いている。誰でも入れちゃうということですか。

【図書館・佐藤係長】

そうですね。図書館の入口については、今のところ施錠等は予定しておりません。

【若葉町3丁目〇〇】

テラスも同じですか。

【図書館・佐藤係長】

テラス自体はフェンスがありますので、乗り越えようとしなければ。

【若葉町3丁目〇〇】

ちょっと別のところに住んでいたんですけど、結構夜に喫煙する方がたむろしていたり、たまり場になってしまい懸念があるかなと思っておりますので、夜間の防犯についても検討していただけとありがたいです。

【図書館・佐藤係長】

ありがとうございます。

【森木副主幹】

最後に教室についてですが、今の中学校棟と小学校棟はそれぞれ5教室程度が入る形になっております。

1教室の大きさが、大体9メートルかける8メートルという大きさになっており、あまり細長すぎるということはない形状となっておりますので御理解いただければと思います。以上です。

【若葉町3丁目〇〇】

ありがとうございました。

【司会】

それでは次の方に移ります。

【入間町2丁目○○】

今日はありがとうございました。これだけ大規模な生徒数をこのサイズに収めるのは大変だったと思います。

私は、入間町2丁目に住んでいて、子どもが若葉小と第四中にいます。そして、建替わったときに下の子が行くかなというところで、若葉小の地域コーディネーターをしています。

その視点から見て3つ質問と1つ要望があります。

まず1つは、今、クラス数が小学校28学級、中学校が11学級だと思うのですが、想定でまだ余裕があるクラス数なのか、今がマックスでこれ以上増えたり減ったりしたときはどのように想定されているのかです。

もう1つが、PTA室とか地域団体が使える部屋がどこにあるのか。PTA室は小学校と中学校と別れているのか。保護者が茶話会したりとか、結構使いたい部屋が、フリーで使いたい部屋がたくさんあるのですが、どこに入るのかなということが気になっています。

2点目、大分前に小・中学生にアンケートをとっていただいたと思うのですが、中学生は、居場所が欲しいという声が多かったかと思います。例えば、放課後、クラス関係なく居られる部屋があったらいいなどかがあったかと思いますが、そういうった場所はないかなとは思いますが、検討いただければありがたいなと思います。図書館もいいんですが、騒がしくしてしまったりするので、校内にそういう開かれた子ども同士が交流できる場所があればいいなと思います。

3点目は部活動です。今、校庭でやっている中学生的部活動はどのように想定されているのか、もしあれば教えてください。

最後に、さっきお話をあった登下校で使う歩道についてですが、今も、特に下校の時間はみんな勢いよく出てしまって、門の前に子どもがばーっと出てしまうので、やはり歩道が細すぎるということがあるので、校舎敷地内に造られる歩道はできるだけ広く、植栽よりも歩道をとっていただいた方が安全面ではいいかなと感じました。以上です。

【関口施設担当課長】

まず、学級数の見込みについては、この事業をやろうと決めた時の想定よりは、現実的には学級数は少ない見込みになってきた状況です。当初の見込みでは、もう1回仮設校舎を造らなければならない状況を想定していたのですが、なんとかそこは回避できる状況になっていまして、ある程度、今の学級数より

も余裕を持った教室数で設計しておりますし、現実的に未就学の人口よりも当初よりは若干減ってきていますので、できたはいいけど、教室が足らないという状況にはならないと考えております。

それから、PTA等の保護者の方々が活動に利用していただくスペースについては、既存の校舎ではない状況ですので、そういった部屋は1階の管理署室のゾーンに造るというプランニングで詳細を詰めておりますので、今の学校に部屋がないという状況よりは改善する形になります。しかし、具体的にどこにつくるかという詳しい内容については、これからのお話となります。

部活動については、実際に何部を設置するかということは学校側で決めることがありますので、特に運動部等で何部を残すのかなどもありますが、活動場所については、少しでもサポートできるようなところは教育委員会としても考えていくたいと思っております。

アンケートにあった子供たちの居場所については、小学校とかで言うと、南側に普通教室、廊下を挟んで北側に特別教室という配置を考えていて、その間の空間はある程度大きなスペース…。

【事業者（伊藤喜三郎）】

私から、子ども達の居場所について説明させていただきます。

今回、資料をだいぶ抜粋して説明しているので、わかりにくいところがあつて申し訳ないのですが、小学校の特別教室と小学校の普通教室の間に結構広い廊下があります。真ん中に物品庫やトイレとかもあるんですが、その一番先端や間に、学年ラウンジという広場のようなものがあります。こちらが教室以外に生徒達がいられるような場所として使えるかなと思います。

また、体育館の下のところ、手元の資料を御覧いただいて、2階平面プランで、1階からの吹き抜けのところに、大きな、大階段というものがありまして、普通の階段と腰かけられる、そういったスペースを設けております。また、メディアホールというものも設けております。

また、交流ラウンジは、小・中の交流機会や中1ギャップに対して、何か解決できないかということで用意しております。

【司会】

それでは最後の方。

【若葉町3丁目〇〇】

若葉町3丁目の〇〇と申します。近隣住民となります。

この当たりの地盤調査はされているんでしょうか。というのも、この辺りは

せい弱な部分がありますので、そのあたりをどうされているのかということです。

また、解体時には圧縮工法で騒音とか振動とかに対応されるとのことでしたが、建設時の基礎工事とか、振動とか、どのようになるのか心配だったので質問させていただきました。よろしくお願ひします。

【事業者（青木あすなろ建設 久保田）】

地盤調査につきましては、調布市の方で過去に調査された資料を基に基本計画は策定されていますが、丁度、10月15日から中学校の敷地内で地盤調査、ボーリング調査を開始しております。

こちらは1か月ほど調査を行いまして、その結果を持って安全性を確認し、基礎工事に入る計画でございます。もちろん、軟弱な部分等があれば、すぐに地盤改良を行いまして、強固な基礎を計画いたします。

地下に構造物はございませんので、安心していただける計画として参ります。以上です。

【若葉町3丁目〇〇】

杭打ちとかはないんですね。工法に。

【事業者（青木あすなろ建設）】

あくまでも地盤調査の結果を持って、想定外のことが起こりましたら杭に限らず様々な工法を検討しますけれども、現段階においては杭ではなく地盤改良で十分な基礎が構築できると試算しております。

【若葉町3丁目〇〇】

ありがとうございます。

【司会】

それでは、お時間もだいぶ過ぎておりますので、事業概要説明会を閉会させていただきます。本日は、長時間に渡り御参加いただき、また貴重な御意見をいただきまして誠にありがとうございました。

お忘れ物が無いよう御注意いただき、お気をつけてお帰り下さい。本日はありがとうございました。